

NEWS 翔

SYOU

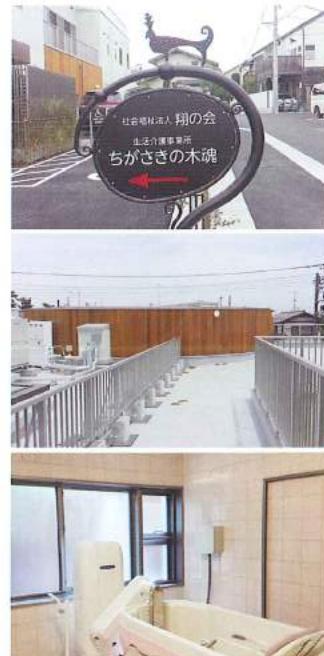
2015.12.10
No.55
社会福祉法人【翔の会】
広報誌



ちがさきの木魂

地域の全ての方にとっての安心・憩いの場を目指して。
みなさんの声にこたえて木陰のような
集いの場が生まれました。

以前ご案内させて頂いた「ちがさきの木魂」が予定より1ヶ月遅れて6月1日に開所しました。もうご覧になった方もいらっしゃると思いますが、とても明るく、広くて、きれいな施設です。定員は40名で、現在の湘南鬼瓦を中心とした他事業所から移られる方がほとんどです。来年度からは、新しい利用者さんの受け入れも可能になりますので、また新しい出会いが楽しみです。そして今回建設した「ちがさきの木魂」は法人としても初めて茅ヶ崎の南部に位置する大きい施設という事で、災害対策にも一役買ってもらえると期待しています。ここは通所施設ではありますが、生活に必要な設備が整っていますので、有事の際には避難所としても活躍してくれると思います。また、この施設には開放的なテラス席もあるカフェスペースがあります。食事やデザートを楽しむ事も出来ますので、お近くにお越しの際は是非、お立ち寄りください。尚、駐車場はございませんので、公共交通機関または自転車等でお越し下さいますようお願いいたします。



明るく奇麗な
ちがさきの木魂



2014年度(平成26年度)法人事業報告

I. 新規事業

放課後等デイサービス「タンブー」(茅ヶ崎市矢畑)(寒川町岡田)12月開所

II. 2014年度概要

安心できるより良いサービス提供の実現

1. 本人の意向を生かした支援の充実

【本人参加による個別支援計画の作成の実施】

原則ご家族とご本人が同席する中で説明、確認を行ってきました。

【本人の意向をくみ取るアセスメントの強化】

生活の中のかかわりやイベント、外出などの記録から本人の意向をくみ取るようにしてきました。ご家族や関係機関からも話を聴き表出されないニーズも聞くことを心がけてきました。

【本人を中心とした実践の振り返り(評価)】

会議をもって行ってきました。

3. 健康を守る支援の充実

【医学的基礎研修の実施】

全職員対象に年2回実施しました。

【喀痰吸引等登録研修機関への登録】

次年度登録できるよう準備をすすめました。

2. 権利擁護の推進

【人権研修の実施】

10月から顧問弁護士による研修を全職員対象に実施しました。

【権利擁護アンケート結果に基づき質が保たれるケアへの取り組み】

会議等で利用者目線に立つことを確認し話し合ってきましたが、各事業所とも具体的な取り組みまでには行きつきませんでした。

【Sネットとの協働による協力委員研修の実施】

Sネットとオンブズマン活動の総括と今後のあり方についての話し合いを重ねた一年でした。協力委員研修は行えませんでした。

4.遊びの文化を創る

【利用者や家族、地域の人々と共に「生きることを楽しむ」実践の追及】

【「～をしたい」の声に応える】

利用者の声に応えた行事の開催。地域イベントに参加してきました。

透明性の高い安定した運営の実現

1. 人財育成・安心した労働環境のための労務管理体制の構築

(コンサルティング会社と連携して進めました。)

2. 人財育成・職員研修の体系化と資格取得の推進

(月に一度、全施設長参加による人財育成会議を実施。そこに外部の専門家組織に加わってもらい、チームを組み人財育成の体系化をすすめました。)

3. 苦情解決体制の充実

(解決に向け聞き取り調査等を行い、調査結果をもとに全施設長で協議をし解決策を見出すようにしました。)

4. 衛生・天災を含めた危機に対する備えの強化管理運営体制の強化

(茅ヶ崎市防災対策課の指導を受けながら大規模災害時の対応ガイドラインを作成はじめました。)

5. 全ての事業所における自己評価の実施と第三者評価の推進

(水平線で第三者評価を実施しました。)

6. 新会計基準への対応

(本年度4月から対応しました。毎月全施設長課長参加による月次決算報告会を実施し月単位で財務状況を確認してきました。)

新規事業への取り組み

1. 生活介護事業所「ちがさきの木魂」の整備 (2015年(平成27年)6月の開所予定で整備を行いました。)

2. 在宅部門における看護と介護の連携によるサービス提供の実施

(訪問看護ステーションつばさと小和田ケアセンター居宅介護支援・訪問介護が事務所を共にすることにより連携が円滑になり一體的なサービス提供ができるようになってきました。)

3. 障害児の放課後支援についての検討 (昨年12月に開所しました。)

4. 湘南鬼瓦の改修工事の検討 (2015年(平成27年)8月から工事を開始できるよう準備を進めてきました。)

5. 発達障害者の通所の場の整備 (2015年(平成27年)8月にグリーングラスを建て替える準備を進めてきました。)

2014年度(平成26年度) 翔の会 会計報告

事業活動計算書

単位：千円

サービス活動増減の部	介護保険事業収益	773,555
	老人福祉事業収益	3,138
	保育事業収益	117,642
	就労支援事業収益	31,857
	障害福祉サービス等事業収益	1,565,465
	医療事業収益	23,576
	その他の事業収益	17,285
	経常経費寄附金収益	4,428
	その他の収益	12,106
	サービス活動収益計	2,549,052
	人件費	1,760,283
	事業費	288,756
	事務費	353,021
	就労支援事業費用	52,606
	減価償却費	146,709
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲66,005
	サービス活動費用計	2,535,370
	サービス活動増減差益	13,682
サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収益	2,057
	受取利息配当金収益	131
	その他サービス活動外収益	37,910
	サービス活動外収益計	40,098
	支払利息	22,426
	その他サービス活動外費用	25,987
	サービス活動外費用計	48,413
	サービス活動外増減差益	▲8,315
	経常増減差額	5,367
	施設整備等補助金収益	28,530
特別増減の部	施設整備等寄附金収益	8,004
	その他の特別収益	192,397
	特別収益計	228,931
	国庫補助金等積立金積立額	23,241
	その他の特別損失	281,776
	特別費用計	305,017
	特別増減差額	▲76,086
	当期活動増減差額	▲70,719
増減越差額の部	前期繰越活動増減差額	1,089,105
	当期末繰越活動増減差額	1,018,386
	次期繰り越活動増減差額	1,018,386

貸借対照表

単位：千円

流動資産	634,554
固定資産（建物）	1,583,629
（建物付属設備）	514,968
（土地）	1,317,098
（その他）	636,108
資産の部合計	4,686,357

流動負債	193,892
固定負債	1,836,706
負債の部合計	2,030,598

基本金	196,892
国庫補助金等特別積立金	1,305,481
その他積立金	135,000
次期繰越活動収支差額	1,018,386
(うち当期活動収支差額)	▲70,719
純資産の部合計	2,655,759

負債と純資産の合計	4,686,357
-----------	-----------

第2回 空と海納涼祭



2015.8.6.Thu

2015年8月6日(木)に第2回目の空と海納涼祭がありました。

入道雲、水平線のスタッフが協力しながら準備を行ない、第1回目に引き続き盛大にお祭りができたと感じています。他事業所や地域の方、外部のボランティアの協力もあり、利用者一人ひとり、スタッフも楽しんでいました。

準備期間中は、第1回目の反省点も踏まえて話し合いを行ないました。どうすれば昨年度よりもっと良いお祭りになるのか?悩みが尽きなかったのを思い出します。それはそれで楽しかったのですが。何回か話し合いをしていく中で徐々に今年にやる内容が決まっていきました。お祭りの日が近くになるにつれて、遅くまで準備を行ないましたが、スタッフ一人ひとりが一生懸命に

利用者のことを思って準備をしていたので、見ていて本当に気持ちが良かったです。

当日は、天気にも恵まれてお祭り日和でした。やはり天気も良いと気持ちが高ぶりますね。お祭り自体はとても楽しんでいる様子が見られ、昨年度にはなかった焼きそばや唐揚げなどがありました。利用者はたくさん美味しい物を食べて、見ているととても満足されている様子がたくさん見られました。外部のボランティアも太鼓やマジシャン、歌を唄っていただいたりとても楽しめ、どれも本格的なものでした。入道雲のご家族にもご協力頂いて食べ物を提供してくださいました。お祭りの最後には盆踊りをして、お祭りの締めくくりをし、スタッフ、メンバーと共に踊り、良い感じでお祭りが終われたので良かったと思います。

夜には、夏の風物詩の花火をし、噴射花火、打ち上げ花火、手持ち花火をやり、夏の締めくくりといった感じで、全ての日程を無事に終えることができました。

最後に、空と海納涼祭をやって一人ひとりの笑顔、一丸となって協力できしたこと、1番は全員で楽しめたことが本当に良かったと思っています。来年もより一層皆で楽しめる納涼祭にしていきます。本当にありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。



入道雲納涼祭

女性の利用者に「納涼祭はどうでしたか?」と聞きました。「よかったよ。」との返答。「何がよかったです?」と聞いてみると「特に盆踊りが楽しかった」とのことでした。

入道雲納涼祭

男性の方に納涼祭についてどう感じたか聞いてみました。唐揚げ、かき氷等その他いろいろなものを挙げて、「美味しいかった」とのことでした。そのメンバーさんは、ゲームができる店で店番を行ないその役割に責任を感じていて、お客様が楽しんでいる様子を見てとても嬉しかったとのことでした。

水平線納涼祭

「納涼祭どうでしたか?」と聞くと「楽しかった」と返答。この方は、普段胃ろうにて栄養を摂っていて、経口摂取も少量であれば可能な方です。射的やヨーヨー釣り等、遊ぶをメインに「欲しいものを取りに、頑張ったよ」と楽しんでいました。遊びや食べ物ばかりだったので「飲み物があったら、少し飲みたかったな」と残念そうな顔をしていました。でも、ご家族も来所され、一緒に楽しんでいたので、納涼祭行って良かったと思いました。

第3回 AUN 夏祭り



今年度で AUN 夏祭りは 3 回目を迎える事ができました。

しかし、3 回目を迎えても夏祭りの準備は大変で、前日まで準備を行っていました。今年は「AUN 夏祭り」の看板をより大きくし、外部の方々にも見え易い様、AUN 全体で協力しながら作成しました。スタッフやゆるり入居者、園児たちの手形を押してもらい看板を作り上げました。おかげで素晴らしい看板が出来上がりました。

当日は天気も良く、多くの方々が参加され、とても盛り上りました。午前は園児達の元気と笑顔がより一層夏祭りを盛大にしてくれました。園児達による盆踊りもあり、可愛い姿が見られました。午後は、今年初出店のたこやきが出ました。入居者のご家族がたこ焼きを作って、みなさん美味しい召し上がっていただきました。また看取りの方々も、ご家族やスタッフと一緒に参加され、たくさんの笑顔が見られました。

課題はありますが、一年一回の行事なので、来年度も笑顔が見られる夏祭りにしていきたいです。



入居者 Kさん

Q: 夏祭りに参加されていかがでしたか?

A: 今回みたいなイベント事があると、普段の生活に張りが出て良いですね。夕方にやっていたソーラン節を観て、自

分も昔ダンスをしていたことを思い出せて楽しかったです。

Q: 保育の子どもたちとは交流できましたか?

A: 小さい子が沢山いましたね。小さい男の子が私の傍にくつづいて来てくれて、とても良かったですよ。



夏祭りに参加した5歳女児 T.Yちゃん

Q: 夏祭りどうだった?

A: 楽しかった! うんとね、宝探し(ポールプール)、かき氷も美味しいたし、お菓子も綿あめも美味しいかった! ソーラン節かっこよかったです!

最後に踊れて楽しかった!

Q: 自分でひらいたお店はどうだった?

A: 楽しかった。でも、いらっしゃいませって言うのが少し恥ずかしかった。

Q: また夏祭りをやるなら何をやりたい?

A: アイスが食べたい! ホットケーキもいいな、お店はいちごを売りたいな。

Q: おじいちゃん、おばあちゃんはどうだった?

A: うーん、恥ずかしくてあまり話せなかった…

事業所 改修工事のお知らせ



空と海

建物の老朽化のため、11月から空と海の改修工事が始まります。工期が約1年間掛かる大きな工事になります。空と海には、入道雲と水平線という生活施設があるため、建物を使っていない時間はないので、使いながらの修繕工事になります。そのため、入居者やご家族の方々にもご迷惑をお掛けする事になると思いますが、安全面に十分配慮しながら、工事を行ないますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。また、海賊船を含む空と海を利用されているご本人やご家族の皆様には詳しい内容やスケジュールが分かり次第、改めてご連絡させて頂きます。ご不便をお掛けしますが、よろしくお願ひします。



グリーングラス

建物の老朽化のため、9月から建て替え工事がスタートしました。同敷地内に新しい建物を建て、引越し後に現在使用している建物を解体し駐車場にして、建て替え工事終了となります。その間おおよそ半年。同敷地内に新しい建物が建つため、利用者のみなさんは“引っ越し”的イメージが付きやすいかもしれません。反面、敷地内への出入り口が狭く毎日の送迎の際に事故等が起きないよう、交通整理が毎日の日課になっている今日この頃です。



湘南鬼瓦

翔の会の最初の施設、湘南鬼瓦は開設から22年を過ぎました。今回の改修工事では、これから20年に向けて、大幅にリニューアル。外壁・内装から、建物内部の配管・設備まで、必要な改修はできるだけ盛り込んで進められています。現在は外壁のクリーニングと塗装、1階部分の改修の真っ最中です。外にはこりなどが飛ばないよう、いまは青いシートで全面が覆われています。来年3月にはピカピカになって再登場の予定です。乞うご期待!改修工事の間、利用者の皆さん、そして近隣の皆さんには大きなご協力をいただいております。どうもありがとうございます。



放課後等デイサービス タンブー OPEN



2014.12.Start

2014年12月から、放課後等デイサービス「タンブー」がオープンしました。「タンブー」はインドネシア語で「育つ」という意味。障害のあるお子さんが放課後や学校がお休みの日に通って、活動したり仲間と一緒にすごしたりする場所です。安心できる場所で健やかに育つお手伝いをしたい、という願いを込めてこの名前をつけました。「タンブー」はお子さんの住まいに合わせて茅ヶ崎市と寒川町に1か所づく、併せて2か所（それぞれ定員10人）で活動しています。茅ヶ崎のタンブーは消防署の前の建物を借りて、主に小学校低学年のお子さんが利用しています。

入学してで学校帰りにお昼寝してみたり、宿題と一緒にやったり、体を思いっきり動かしたり、お子さんの体調や特徴に合わせて放課後の過ごし方を工夫しています。寒川のタンブーはこれまで「つくしんば」として活動してきた事業所を分けて、2事業にしてオープンしました。茅ヶ崎に比べると小学校から高校生まで、年齢層も広く、これまで「つくしんば」と同じように異年齢での活動はもちろん、成長の段階にあったそれぞれのお子さんへの支援を模索中です。どちらの「タンブー」も、まずはお子さんが安心して楽しく過ごせる場所、そしてお子さんの成長をご家族や学校などと一緒に支えていける場所となれるよう、日々活動に取組んでいます。



翔の会地域セミナー

日 程 2015年12月19日(土)
時 間 13:40開場 14:00講演
場 所 茅ヶ崎市役所分庁舎6F(コミュニティホール)
お問い合わせ先 社会福祉法人 翔の会 / 地域セミナー実行委員会
TEL:0467-54-5424(平日9時~18時)
FAX:0467-54-5498

今回は、寒川在住の濱宮郷詞さんから「困難を乗り越え強く生きる」をテーマに講演をしていただきます。障害を負い、また様々な困難に出会いながらも、前向きに生活を続ける濱宮さんから貴重な体験談を伺います。多くの方のご参加をお待ちしています。



濱宮郷詞さん

後援会より



「翔の会後援会」とは?

『誰もが地域で暮らせるために』 幅広い事業展開をしている「社会福祉法人 翔の会」の活動を支援するために生まれました。後援会では、この主旨に賛同頂ける多くの方が集い、イベントやバザーに参加して収益活動をしています。施設でのボランティア活動の活性にも努めています。

会員になるには?

入会申込書に記入して会費を納めてください。
「空と海」(茅ヶ崎芹沢786)の後援会事務担当者に直接渡してくださいか、郵便口(002202-2-75228)へ払い込みいただいています。

個人会員(年額)	1 口	3,000 円	1 口以上
法人会員(年額)	1 口	30,000 円	1 口以上
利用者本人会員(年額)	1 口	5,000 円	1 口以上
利用者家族会員(年額)	1 口	5,000 円	1 口以上

詳しくは
後援会事務局 「空と海」
海野・湖口まで
TEL: 0467-54-5424
FAX: 0467-54-5498



小谷後援会 会長

催し物のご報告

■ 春の市民まつり

5月3日、五月晴れに恵まれた中で行なわれました。今年度も皆様からご寄付いただいた古着や雑貨を販売し収益を得ることができました。ありがとうございました。

■ 後援会総会の開催

5月23日に後援会総会で役員の改選があり、会長が中川陽子さんから小谷勤さんに替わりました。中川陽子さんは引き続き監事として残って下さいます。

翔の会のホームページのヴォイスに新会長のあいさつが掲載されています。ご覧下さい。

■ チャリティー映画会

6月6日に開催しました。今年は「滝を見にいく」という映画で、バスツアーで滝を見に来たおばちゃん達が、森で遭難してサバイバル生活を送るという非日常的でどこかユーモア溢れる作品でした。

チケットの普及や当日のお手伝いなど、大勢の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

来年度は7月2日(土)を予定しています。

乞う!! ご期待!!

後援会から翔の会への2014年度の寄付について

日頃より、翔の会後援会の活動にご協力いただきありがとうございます。2014年度は後援会から翔の会へ、総額 8,095,000円の寄付をすることができました。そのお金で16箇所の事業所が21種類の物品を購入しました。購入した物品は利用者の生活・活動に役立っています。詳しくは翔の会ホームページをご覧下さい。これからも翔の会を応援できるよう、後援会の活動に会費納入にご協力をお願いします。

編集後記

今年の4月、茅ヶ崎市で始まって以来の歴史的快挙が起こりました。その快挙とは「茅ヶ崎市初の車イス市議会議員の誕生!」です。それを成し遂げた議員の名前は豊嶋太一さんといって、ウェルドニッヒホフマン症候群という重度の筋萎縮症障害を抱えた人です。そんな豊嶋さんが選挙期間中「共生社会」のことを強く訴えていました。まだまだ世間は共生社会とはほど遠く、差別が無くならない、バリアフリー化が進んでいないなどなど。問題は山積みですが、ただその問題も豊嶋さん(障害当事者)が当選したことによって、共生社会への大きな一步を踏み出したことは間違いないと私は確信しています。なによりも障害当事者が議会に出て、福祉の現状を訴えるということは、やはり健常な方が訴えるよりも説得力があると思います。

最後に、一市民であり障害当事者でもある私から、豊嶋さんには「障害者当事者も参加して造る、本当の共生社会造る架け橋になってほしいな」と伝えたいです。(M.T)